

わが街の ヒーロー

柏レイソル育成コーチ
酒井直樹さん



向上心

本人直筆

地元流山の少年サッカーチームから初めてプロ入りを果たし、96年には日本代表選手にも選ばれた、酒井直樹がコーチとして柏に帰ってきた。

野球少年だった酒井さんは小学3年生の時、漫画「キヤブテン翼」に影響されサッカーに転向、地元の初石少年SCへ。中学1年生の時に日立SS柏（現柏レイ

ソルユース）に入団、ユース時代の監督・成嶋徹さんに「目をかけてもらい」、日立FC（現柏レイソル）元監督の山口芳忠さんに「プロに上げてもらった」と語る。

現役時代うれしかったことは、大舞台となった「日本代表の試合とナビスコカップ（99年）での優勝」。一方、一年半で4回の肉離れを起こすなど怪我に泣かされた。一番辛かったのは02年10月、札幌時代の怪我。一度復帰したものの再度負傷し、10カ月プレーが出来なかった。もちろん現役を続けるつもりだったがレイソルからコーチ就任の話が無い込み、1カ月悩んだ末、受諾。「戸惑いもあるが、サッカーで仕事ができるのは幸せ」「僕自身、向上心というのがすごい好き。努力したことの見返りは未知数だから」と、後進の指導に気合い十分、熱い思いを語ってくれた。

さかいなおき 流山市出身。八木北小、常盤松中、小金高卒。94柏—02札幌（期限付き）—03引退。J1リーグ通算147試合、17得点。1975年8月2日生まれ、28歳。02結婚、03.11月長男誕生。04.4/10号から朝日スポーツキッズのコラム担当。